

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		広報活動費〔インターネット広報事業〕							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	広報費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	秘書広報		課		広報		係	課長名	五十嵐 孝雄
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 3	
【施策名】 市民自治の向上							総合計画書(ページ)	127	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 世帯数(平成31年4月1日現在)				
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] インターネット環境を活用した広報手段を介し、希望する時に市政やイベントなどの情報を入手することができる。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①ホームページアクセス件数(令和2年3月31日現在) ②ツイッター登録(フォロワー)数(令和2年3月31日現在) ③メールマガジン登録者数(令和2年3月31日現在) ④フェイスブックの「いいね」数(令和2年3月31日現在) ⑤YouTube動画の再生回数(令和2年3月31日現在)				
	③ そのために何をしましたか。 適時に情報を更新し、発信した。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①ページ更新回数 ②ツイッター投稿数 ③メールマガジン配信数 ④フェイスブック投稿数 ⑤YouTube動画投稿数(累計)				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	世帯	38,405	38,705	38,895			
	成果指標	②の数値	件・人	①2,488,547 ②2,484 ③367 ④754 ⑤9,534	①6,065,585 ②2,887 ③435 ④1,016 ⑤8,719	①7,128,590 ②4,289 ③450 ④1,159 ⑤10,559			
	目 標	②の目標値	件・人			①6,400,000 ②3,100 ③500 ④1,300 ⑤11000	①7,300,000 ②4,400 ③550 ④1,500 ⑤12,000		
	目標値設定の考え方 より多くの方に情報を見ていただく								
活動指標	③の数値	件	①2,076 ②420 ③48 ④101 ⑤21	①1,771 ②660 ③48 ④266 ⑤52	①1,794 ②555 ③58 ④333 ⑤58				
3 経費	事業費(実績)		円	9,442,938	4,409,404	4,444,942	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	9,032,938	4,409,404	4,444,942			
		特定財源	円	410,000	0	0			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.2	1.2	1.2			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	9,903,600	9,892,800	9,972,000			
職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	19,346,538	14,302,204	14,416,942				
4 環境変化等	(1) 開始年度		12 年度						
	(2) 環境の変化								
	①ホームページは、平成12年10月に、市民に市の情報を提供する手段として開始した。 ②ツイッターは、平成25年1月に、市政への関心を深めてもらうため、また、災害時の情報提供の手段として活用するために開始した。 ③メールマガジンは、平成25年2月に、希望ジャンルの情報を直接お知らせするため開始した。 ④フェイスブックは、平成26年4月に、市政情報やイベント情報を発信するために開始した。 ⑤動画配信サービスYouTubeは、市が作成した動画等を配信するため、平成27年10月に利用開始した。 ⑥平成29年12月にホームページのリニューアルを行った。 ⑦令和元年10月にツイッター・フェイスブックの投稿の際の事務決裁方法を変更し、より即時性のある投稿を可能とした。								

事業名称	広報活動費〔インターネット広報事業〕				
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、 平成31年度中 に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	・台風19号接近時において、ホームページの閲覧がしづらいとの意見が寄せられた。 ・令和2年予算特別委員会において、新たなSNSの活用の検討について質問が寄せられた。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑥情報提供・情報交換（広報媒体：インターネット） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 さらに適した協働の形態とするため、市民に対して市の情報を日頃から発信することはもちろん、災害時においても安定して発信できる体制をソフト・ハード両面で整えていく必要がある。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	①のホームページについては、分かりにくいページ等の改善が必要である。 ②ツイッター、フェイスブックについては、各課で適時に投稿できたが、年間で見ると投稿数が少ない時期がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	①については、ページアンケートの集計結果を各課に送付し、改善を促した。 ②については、各課に対し、ツイッター・フェイスブックでの事業周知を促した。また、投稿の際の事務決裁方法を変更し、より即時性のある投稿を可能とした。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
①ホームページについては、災害時等でも安定して閲覧できる環境の整備が必要である。 ②ツイッター、フェイスブックについては、より多くの市民に閲覧されるよう、魅力的な投稿にする必要がある。					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民自治の向上 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】				
	①ホームページについては、より安定して閲覧できる仕組みを導入する。 ②ツイッター、フェイスブックの投稿の際には魅力的な写真を用いることを心がけるなど、多くの市民に投稿を見てもらう工夫に努める。 ③災害時における広報のあり方を見直し、災害時に市民が求める情報を適時に分かりやすく発信できるよう努める。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	①ホームページが安定的に閲覧できる新たな仕組みの導入に向けた調査並びに研究をする必要がある。 ②ツイッター・フェイスブックに写真を用いて投稿する際は、被写体の個人情報保護を保護する必要がある。また、多くの市民に投稿を見てもらうよう、ホームページにおけるツイッター自動投稿機能を有効に活用する必要がある。 ③災害時に必要な情報を分かりやすく発信するため、あらかじめ災害内容に応じた広報文例を整備する必要がある。				